

# 第4章 ごみ関係事業

- 1 収集
- 2 中間処理
- 3 最終処分
- 4 施設の所在地
- 5 ごみ処理施設と機材
  - (1) ごみ処理施設
  - (2) 機材
- 6 ごみ処理の流れ

## 1 収集

昭和40年から市内全域の生ごみ（2回/週）及び粗大ごみ（3ヶ月に1回）の収集をステーション方式により実施しました。平成7年度からは、燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源物<びん・かん>・大型ごみの4分別収集を実施してきましたが、平成12年度にごみの分別を拡大し、平成17年度では、燃やせるごみ（2回/週）、燃やせないごみ、資源物<びん・かん、ペットボトル、ダンボール、飲料用紙パック、新聞・チラシ、本・雑誌・雑紙、衣類・布類>、大型ごみの10分別収集となりました。その後、平成23年4月から市内全域において、びん、かん、ペットボトルのコンテナ・ネットによる収集を行い、また、平成24年4月から市内全域において、プラスチック製容器包装類、廃食用油、金属類（指定10品目）の収集を開始しました。平成25年10月から回収ボックスを市内の公民館など15カ所に設置し、使用済小型家電（指定17品目）の実証事業を行い、平成26年4月からコミュニティセンターなどで設置を拡大、平成28年10月にはイオンリテール株式会社との提携により市内2店舗に回収ボックスを設置し、市内29カ所で収集しています。現在は、燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ（特定大型ごみ、特定粗大ごみを含む）、資源物<びん、かん、ペットボトル、古紙類（ダンボール、飲料用紙パック、新聞・チラシ、本・雑誌・雑紙）、衣類・布類、プラスチック製容器包装類、廃食用油、金属類（指定10品目）、使用済小型家電（指定17品目）>の4種12分別収集となっています。

また、平成20年3月から、ごみや資源物を集積場所まで持ち出すことが困難な世帯を対象に玄関先などからの戸別収集を行い、併せて収集するときに一声掛け、安否確認も行う「安心まごころ収集」を開始しています。

ごみ・資源物の収集は、環境事業センター（業務担当）のごみ収集車による収集のほか、平成19年度から資源物の全てについて委託による収集をしています。

ごみ集積場所（ステーション）の数は、燃やせるごみ8,655カ所、燃やせないごみ7,536カ所と資源物（びん、かん、ペットボトル、古紙類、衣類・布類、プラスチック製容器包装類、廃食用油、金属類（指定10品目））3,413カ所となっています。（平成30年4月1日現在）

大型ごみは、有料予約制で電話申込みにより収集しています。平成20年4月1日から一般廃棄物（ごみ）の処理手数料の改正が行われ、大型ごみ等の処理手数料が変更されました。大型ごみ（1辺の長さが50cmを超え2m以下のもの）は1個につき500円、特定大型ごみ（1辺の長さが1mを超え2m以下のソファ等指定品目）は1,000円、特定粗大ごみ（収集・運搬時に危険性があるガステーブルレンジ等の指定品目）は500円となっています。また、平成26年4月からは茅ヶ崎市資源分別回収協同組合で収集委託を開始し、同年11月より受付業務についても委託を開始しました。

廃乾電池及び蛍光管等は、燃やせないごみの日に収集し、公益社団法人 全国都市清掃行政会議を通じて専門会社に処理を委託しています。

犬猫等の死体処理は、環境事業センター（業務担当）で申込みを受け付けた後、株式会社動物愛護の会に委託しています。

## 2 中間処理

収集されたごみや資源物は、環境事業センター（管理担当）または寒川広域リサイクルセンターへ搬入されます。燃やせるごみは焼却し、燃やせないごみ・大型ごみは、粗大ごみ処理施設

で圧縮・破碎した後に、可燃物については焼却しています。なお、燃やせないごみ・大型ごみの中には鉄類など資源化できるものが多く含まれているため、処理する前に手選別及び磁選機にて抽出し、資源化しています。

また、資源物をより有効に利用するため、寒川広域リサイクルセンターにおいて、びんは手選別し、スチールかんは磁選機によって、アルミかんはアルミ選別機によって選別・圧縮形成しています。さらに、ペットボトル及びプラスチック製容器包装類についても、圧縮機で圧縮・梱包処理を行っています。

### 3 最終処分

中間処理後の焼却灰は、堤十二天一般廃棄物最終処分場等に埋め立て及び熔融処理等による再資源化を行っています。一般廃棄物最終処分場の適正な維持管理をはかるためにも、ごみの減量化・資源化が重要な課題です。

### 4 施設の所在地



- 〈 環境事業センター 業務担当〉  
茅ヶ崎市萩園 1 0 8 5 番地 TEL 0467(57)0200 FAX 0467(86)6833
- 〈 環境事業センター 管理担当〉  
茅ヶ崎市萩園 8 3 6 番地 TEL 0467(58)4299 FAX 0467(58)7330
- 〈 堤十二天一般廃棄物最終処分場〉  
茅ヶ崎市堤 1 3 0 0 番地外
- 〈 茅ヶ崎市資源分別回収協同組合〉  
茅ヶ崎市今宿 8 2 9 番地 TEL 0467(57)8310 FAX 0467(82)5339
- 〈 寒川広域リサイクルセンター〉  
寒川町宮山 2 5 2 4 番地 TEL 0467(74)5547 FAX 0467(74)5568
- 〈 寒川町美化センター〉  
寒川町田端 1 5 7 8 番地－3 TEL 0467(74)3341 FAX 0467(74)3351



環境事業センター（業務担当）



環境事業センター（管理担当）



堤十二天一般廃棄物最終処分場



寒川広域リサイクルセンター

## 5 ごみ処理施設と機材

### (1) ごみ処理施設

環境事業センター（ごみ焼却施設）

所在地	萩園 836 番地	
規模	敷地面積	18,978 m <sup>2</sup>
	建築面積	3,974 m <sup>2</sup>
完成年月日	平成7年9月30日	
総事業費	16,881,700千円	
処理方法	全連続燃焼式ストーカ炉	
処理能力	360 t/日 (120 t/日×3炉)	

環境事業センター（粗大ごみ処理施設）

所在地	萩園 836 番地
規模	831.66 m <sup>2</sup>
完成年月日	昭和52年8月22日
総事業費	322,507千円
処理方法	CH10/1500型ハンマークラッシャー
処理能力	50 t/5H

堤十二天一般廃棄物最終処分場（堤十二天埋立処分地）

所在地	堤 1300 番地外
規模	埋立面積 16,850 m <sup>2</sup> 埋立容量 186,000 m <sup>3</sup>
完成年月日	平成16年3月
処理方法	サンドイッチ及びセル方式
事業費	1,900,500千円

堤十二天一般廃棄物最終処分場（堤十二天浸出水処理施設）

所在地	堤 1300 番地外
規模	処理能力 50 m <sup>3</sup> /日 調整槽容量 5,600 m <sup>3</sup>
完成年月日	平成16年3月
処理方法	凝集沈殿処理施設+砂ろ過+微量有害物質除去+下水道放流
事業費	640,500千円

堤十二天一般廃棄物最終処分場（堤十二天補完水処理施設）

所在地	堤1300番地外
規模	処理能力 80 m <sup>3</sup> /日
完成年月日	平成22年3月
処理方法	凝集沈殿処理施設+活性炭ろ過
事業費	30,314千円

寒川広域リサイクルセンター

所在地	寒川町宮山2524番地	
規模	敷地面積	12,063.90 m <sup>2</sup>
	建築面積	2,991.00 m <sup>2</sup>
完成年月日	平成24年3月	
建設事業費	1,490,874千円	
処理能力	55.5 t/日 (7.5H)	

(2) 機材

(平成30年4月1日現在)

管理場所	機材及び保有台数	
環境事業センター (業務担当)	2トンロードパッカー（内ハイブリッド車4台）	47台
	2トンダンプ	4台
	軽四輪自動車	1台
	軽トラック	4台
	マイクロバス	1台
環境事業センター (管理担当)	4トンダンプ	2台
	バキュームカー	1台
	ショベルローダー	2台
	ペンチャー	1台
	フォークリフト	1台
	フックロール車	2台
	軽四輪自動車	1台
	軽トラック	1台
	2トンロードパッカー	2台
最終処分場	4トンダンプ	1台
	10トンダンプ	1台

## 6 ごみ処理の流れ

環境事業センター



